

文化芸術における創造的活動の研究

造形短期大学部
造形芸術学科
准教授

石崎 幸



研究シーズの紹介

文化芸術の分野における創造的な活動は、時代とともに絶えず進化している。現代においてグラフィックデザインは、ビジュアルデザインとしての機能を拡張し、その新たな領域が舞台芸術にも応用されている。本研究はこの新しいアプローチを探索し、視覚的魅力だけではなく舞台芸術の本質的価値を深化させ、その表現の可能性を拡げることを目指している。

具体的な制作物として、シンボルマーク、リーフレット、パン

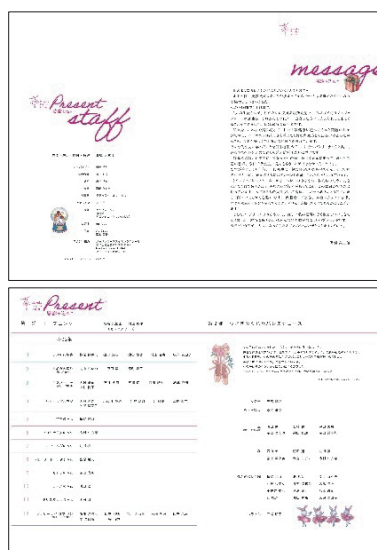
フレット、SNS用アイコンデザインがある。これらは、舞台芸術の独自性と魅力を象徴し、観客が作品と直接関わるきっかけを提供する広報材料として機能している。

これらビジュアルデザインの取り組みは、コミュニケーションの手段にとどまらず、創造的プロセスをサポートし、創作者と観客の関係構築のための架け橋ともなっている。



進化する舞台芸術の
コミュニケーションと
サポート

- ビジュアルデザインはコミュニケーションの手段としてだけでなく、創造的プロセスをサポートし、創作者と観客の関係構築に寄与しています。



期待される活用シーン

- 舞台などのプロモーションに、オンラインマーケティングを活用したい。



ビジュアルコンテンツを使ったインタラクティブなキャンペーンやオンラインでの視聴者とのエンゲージメント促進。



ARを使用したリーフレットやポスターで、スマホを通じて追加コンテンツを表示するなど、インタラクティブな広報資料。

- 展示会、公演、ワークショップなどの活動を通じてコミュニティビルディングを行いたい。



観客、アーティスト、スポンサー間の関係構築に寄与するビジュアル要素の作成。SNSやWebサイト上でのコミュニティとの継続的な対話の促進。



アーティストの制作プロセスや舞台裏を捉えた映像や画像を定期的に公開するなど、ビジュアルコンテンツの共有。